

卒業メッセージ ～「最初のペンギン」になる勇気を！～

本年度もいよいよ最終号。6年生の輝かしい門出に、ささやかですがメッセージを贈ります。

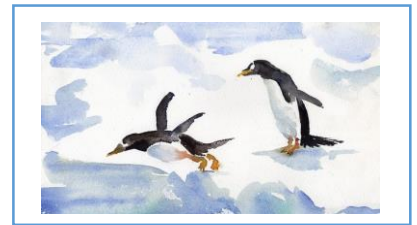
6年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。

皆さんは体も大きく育ち、心もたくましくなり、萬歳小の伝統を守り育ててくれた立派な6年生でした。この学び舎から力強く羽ばたいていくみなさんを見送ることは喜ばしいことであり、少しさみしくもあり、まさに早春の日だまりにたたずむ心境です。

皆さんの前に洋々と広がる希望あふれる未来。しかし長い人生は平坦な道のりばかりではありません。時には厳しい登り坂が待ち受けることも、大事な分かれ道にさしかかることも必ずあるでしょう。そんな時、この話を思い出してもらえたら幸いです。

「最初のペンギン (first penguin)」とは何のことか知っていますか？
脳科学者である茂木健一郎氏が紹介しているエピソードです。

ペンギンは氷の上をうろうろしていますがなかなか飛び込みません。ほほえましい光景に見えますが、実は生きるための厳しい選択を迫られているのです。海に飛び込んで魚を捕らなければ飢え死にします。しかし、海の中には恐ろしい敵が潜んでいて食べられてしまうかもしれません。できれば、他のペンギンが海に飛び込んで安全を確認できてから自分も飛び込みたい。でもいつかは危険を冒してでも飛び込まなければ餌をとれずに飢え死にしてしまいます。餌がとれるか食われてしまうか、避けることのできない、命をつなぐギリギリの選択の場面で決断を下し飛び込みます。海に飛び込む「最初のペンギン」がいるからこそ、事態は切り開かれるのです。



英語圏では、「最初のペンギン」とは、勇気を持ってチャレンジする人のことを指します。

「最初のペンギン」の勇気は群れて暮らす仲間たちみんなに恵みをもたらすことになります。初めて空を飛んだライト兄弟も「最初のペンギン」でした。それまで、いったい誰が、あんな大きな鉄のかたまりが空を飛ぶことなど思い描いたのでしょうか？人類は飛行機という利器を手に入れ、今では誰もが快適に空を旅することができるようになったのです。そして宇宙旅行の時代もそこまで来ています。

これからの皆さんの人生の中で厳しい決断を迫られる場面が必ずあるでしょう。ここは譲れないと決断したら、最初のペンギンになって思い切って海に飛び込む勇気を持ってください。飛び込んだ先でがんばり抜くことで、新しい世界がきっと開け、自分に、周囲の人々に大きな恵みをもたらすことでしょう。

いよいよお別れです。小学校で習う最後の詩にこの「名付けられた葉」を選びました。

皆さん一人一人がかけがえのない「名付けられた葉」です。いつまでもお元気で。

<p>どんなに風がつよくとも</p>	<p>名づけられた葉なのだから 考えなければならぬ</p>	<p>うつくしく散る法を</p>	<p>せいっぱい緑をかがやかせて</p>	<p>葉脈の走らせ方を 刻み(きざみ)のいれ方を</p>	<p>誰のまねでもない 考えなければならぬ</p>	<p>だからわたし 考えなければならぬ</p>	<p>わたしは呼ばれる 朝に夕に</p>	<p>わたしだけの名で</p>	<p>不安げにしがみついた おさない葉っぱに すぎないけれど</p>	<p>にんげんの歴史の幹から 分かれた小枝に</p>	<p>あつい血の樹液をもつ</p>	<p>わたしも いちまいの葉にすぎないけれど</p>	<p>載せられる名はみな同じ へポプラの葉</p>	<p>何千何万芽をふいて 緑の小さな手をひろげ いつしんにひらひらさせても ひとつひとつのてのひらに ひとつひとつの名はみな同じ</p>	<p>ポプラの木には ポプラの葉</p>	<p>名づけられた葉 新川 和江</p>
--------------------	-----------------------------------	------------------	----------------------	----------------------------------	-------------------------------	-----------------------------	--------------------------	-----------------	--	--------------------------------	-------------------	--------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------	--------------------------



萬歳小での1年を振り返って ～昨年4月に赴任した職員に寄稿してもらいました～

教頭 川口 敏夫

萬歳小学校に着任してからの一年間、心温まる出来事がたくさんありました。新任教頭として着任し、不安いっぱいだった四月。たくさんの皆さんに支えて頂きました。特に本部役員 柴田会長様 川島副会長様 金親副会長様をはじめPTA 役員の皆様にはひとかたならないご支援を賜りました。一つ一つエピソードをお示しして、感謝を申し述べたいところですが限られた紙面ゆえ、謝意のみでご容赦願います。

数々のご支援・ご協力、誠にありがとうございました。

皆様のご厚情に少しでもご恩返しできますよう、次年度もさらにながらみます。



3年担任 岡野 よ志子

子ども達から元気ももらって、早十数年。健康に産んでくれた母と自分のことより孫の世話にかかる義母に感謝しつつ、安心して仕事を続けられています。

笑顔の素敵な萬歳っ子。優しさあふれる萬歳っ子。3年生13名はやるべき時に助け合って力を発揮します。「先生、間違っています」と教えてくれます。毎朝うきうき気分通(かよ)ってすることができました。

もっと、もっと、ありがとうと言える人になりたいです。



4年担任 梅田 愛

体育大会、音楽会、公開授業研究会。四年生にも私にも初めての行事がたくさんありました。努力し、そしてやり遂げた達成感を味わうことができました。

四年生の子ども達は嬉しいときは思い切り笑って、悲しいときは綺麗な涙を流します。感情豊かな子ども達とたくさんの気持ちを共有できたことは教員としてかけがえのない宝物です。来年はどのような一年を過ごせるかを楽しみにしています。

5年担任 伊藤 啓

新規採用教員として萬歳小学校に着任してから、1年が経ちます。振り返ると、明るく、素直な子どもたちに囲まれ、毎日、私がパワーももらっていたように感じます。また5年担任として様々な経験を子どもたちと一緒にすることで、子どもたちと一緒に成長できた貴重な一年でした。子どもたちも6年生になります。自分の力を存分に発揮して活躍してくれることを願います。

用務員 関 清

新規採用業務員として萬歳小学校に、勤務を依頼されたものの、学校業務の仕事はすべてゼロスタート。不安だらけの見切り発車となりました。しかし校長先生はじめ、各先生方の温かい見守りとご指導により、なんとか一年すごせたかなと思っている次第です。

本音をいえば、まだ60点の自己採点です。どうもありがとうございました。

【萬歳小歳時記】 ～離陸前夜～

【学校行事等の際の配慮事項について】

3月8日(金) お別れ給食交流

3月13日(水) 贈り物



6年生が1年生・2年生の教室で給食を食べました。また一つ6年生との思い出が増えました。写真は1年生の教室です。向かい合って食べている姿を見ると、小学校の6年間で体が大きく育ったことがよく分かります。



6年間過ごした萬歳小学校への感謝の気持ちを込めて、6年生が各学年にテレビカバーを贈ってくれました。家庭科で習ったミシンを使って、心をこめて縫い上げました。ありがとうございました。

保護者の皆様からのご意見・ご要望をもとにPTA拡大委員会で検討し決定した内容です。

よろしくご理解・ご協力をお願いいたします。

- 1 運動会昼休みのお菓子の交換
次年度以降は行わないことをご理解願います。

⇒ 昼休みを現在より短くする予定です。

- 2 旭市小学校体育大会・音楽発表会の差し入れ
次年度以降はご遠慮を願います。

学校を離れますが、特別な一日ではなく通常の日と同じに考えたいと思います。

- 3 家族旅行等あとの学級へのお土産
次年度以降はご遠慮を願います。

今後必要な事項の見直しは随時行って参ります。気になること・ご要望等をお気軽にご相談下さい。

【ご協力ありがとうございました】

まもなく終わりを迎える平成30年度。保護者の皆様・地域の皆様には萬歳小学校の教育を推進するにあたり多方面からご理解・ご協力を賜りました。ありがとうございました。

また平成30年度PTA会長 柴田 雄一郎様 副会長 川島 広泰様 金親 孝好様をはじめとするPTA 役員の皆様、本稿PTA活動の発展にお骨折りを頂き、ありがとうございました。

